

西粟倉小だより

令和5年7月19日 NO. 4

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurashogakkou/>

1学期間、温かいご支援ありがとうございました！

本日、西粟倉小学校では1学期の終業式を迎えました。子どもたちの健やかな成長のため、保護者や地域の皆さんにご協力をいただき、恵まれた環境の中で、充実した1学期を送ることができました。特に、「自信」「チャレンジ」「つながり」の3つの力をつけることを重点として取り組む中で、目標をもちながらがんばった子どもたち。それぞれの学年らしさが出て、着実に成長している姿を見せてくれました。特に、「自分から」「やってみよう」という姿が現れるよう努めています。学校で学び方を学び、日常生活や将来の「生きる力」でこそ、「本番」として活かしてほしいです。



学校教育目標

「ふるさとを愛し 心豊かにたくましく自ら学ぶ 児童の育成」

めざす子ども像

○かんがえる子（自ら考え行動する子）

○やさしい子（思いやりがあり、助け合う子）

○がんばる子（最後までやりぬく子）

担任の交代について

2年担任 水嶋沙恵香が出産に伴い、長期の休みをいただきます。期間は、7月19日から年度末までとなります。

代わって、2年生担任は、本校職員の寺西 保が行います。ご理解いただき、今後ともご協力をお願いいたします。

海事研修 5年

6月12日(月)～13日(火)



雨が心配された中でも、大きく降られることなく親元を離れ、海辺の渋川海事研修所に5年生が行きました。宿泊を伴う研修となりました。

海に大きな船で漕ぎ出していく。自分たちの力が頼りになる。こうした体験は日常ではできません。半分は、地元の築港小学校の5年生。始めは櫂（オール）の動きはそろわなかった。互いに励まし、繰り返しこぐ中でどんどん進むようになったようです。



もう一つ特徴的な体験は、地引網です。鯛やダツといった魚がとれたようです。こうした初めてのチャレンジや「秩序 友情 実践」の生活信条を掲げる海事研修所で過ごす経験が次への自信となることでしょう。そして、きっと良い思い出になるでしょう。



めだか米見学 3年

6月28日(水)

農家の仕事をテーマに学習です。メダカ米や様々な野菜を作られている井上善季さんにご協力いただき、田畑の見学とインタビューをさせていただきました。社会科「農家の仕事」、国語「仕事の工夫を見つけたよ」をつないだ学習です。



「メダカが泳げるくらいきれいな水で作られる」ことに、安全なお米なんだと子どもたちは感じていました。



後日、見学したことをまとめ、一人一人が発表しました。いつも見ていたたんぼ、お米がぐんと身近に感じ取れたようです。



「里芋の葉っぱは面白くて、水をはじくんだよ！」と葉っぱの上にある水を動かしてくれました。「ほんとだ!」「かさまたい!」と見つめていました。農業を身近に感じることができた体験でした。ありがとうございます。

15 陸の豊かさも
守ろう



11 住み続けられる
まちづくりを



つながり

健康集会

7月4日(火)



「めざせ！病気に負けない体！」をテーマに、健康委員会が集会を開きました。多目的ホールの中央で、ペープサート（紙人形）を使って、進めました。「睡眠はなぜ必要なの？」、

「風邪をひいたら、なぜ熱が出る？」こうしたことを3択クイズを交えると、全校の子どもたちもよく反応しているのがわかりました。また、委員会の子どもたちも、はっきりとホールの後ろまで伝わる声で進める姿も印象的でした。



暑い夏の季節の変わり目。学校から家庭に戻る長い期間の夏休みが始まります。大切なのは、自分自身の体に関心をもって、健康でいようと行動できること。

自分のやってみたいを実現するとき、健康なのが一番です。

「病気に負けないためには、『食事』『運動』『睡眠』の3つを意識して、規則正しい生活を送りましょう」健康委員から最後に伝えられています。



劇で図書集会

6月20日(火)

もっと図書室へ来てほしい、もっと本を読んでもらいたい。

図書委員会は、この目的を劇で表現しました。2つのチームに分かれ、2つの劇を創作しました。1つは、神様が西粟倉小の子に本を紹介するストーリー。



もう1つは、サッカーがうまくなりたい子が先生のアドバイスをもらって練習するストーリー。台本づくり、配役、練習を1か月かけて仕上げたそうです。



これほどまでに演技派だとはだれが想像したのでしょうか、という本番でした。笑いが起こり、アンコールまで起こりそうな素晴らしい集会でした。

やってみたいを実現する。そして、言葉、体で表現する素晴らしい集会です。



森を比べる 4年

6月19日(月)



これまで、株式会社百森の永美暢久さんを講師に森の「良いところ」「悪いところ」について様々な視点で教えていただきました。

この視点を体感しに、森へ出かけました。広葉樹林、樹木の密集具合を考慮しながら木々を間引く「間伐」をされたばかりの人工林、森林の一区画の木々をすべて伐採する「皆伐」された新しい山、立派な木が育っている人工林へ。

広葉樹林は、人工林と違い、枝分かれして曲がる木、実をつける木と様々。「これなに？」と興味津々です。「実から種ができ、新しい木が育つんだよ」と聞いて、「じゃあ取らないほうがいいね」と返していました。作業道をつくり、人が入ることによって山が荒れないようにできる。山が荒れると動物や、人間にとってどうなるのか？想像力を働かせます。どんな木があるか、どんな生き



物があるか、どのように人が関わってきたか・・・様々な要素が重なってそれぞれの森林が今あります。

森林は「家具になる」「建物になる」というところからどんどん複雑に、大きく世界が広がっていきます。続いていく学習が楽しみです。

森林は「家具になる」「建物になる」というところからどんどん複雑に、大きく世界が広がっていきます。続いていく学習が楽しみです。



小4
森を比べてみよう

バランスよく食べよう

7月5日(水)

1・2年生は、村のヘルスボランティア（ヘルボラさん）に、「好き嫌いなく食べること」「姿勢よく食べること」の授業を受けました。ライスピザを作る体験からスタートです。

食品には、3つの働きがあることをライスピザの具材を例に分けていきます。自分で作った後なので、印象に残っています。

ちやくとになり
からだをつくる

ちからのもとになる
(たんぱく)

びょうきから
からだをまもる



鹿さんと熊さんの劇から、姿勢よく食べるようにしましょう、とお話を聞いていると、ライスピザが焼けているいい香りがしてきました。

自分で作ったアツアツのライスピザを食べさせていただきました。

「おいしかった」「みんなとピザが作れて楽しかった」「初めてピザを作ったので楽しかった」たくさん感想が出ました。ヘルボラさんは、地域からみんなを見ているよ、と愛情込めて伝えてくださいました。



水泳学習



水泳はいざというとき身を守る日常ではない運動。そして、成長も見られる運動です。

しっかり泳ぎ、自信につなげ、自分の目標にチャレンジしてほしいです。がんばろうね。

いよいよ暑い夏。授業では、この季節だけの運動です。

- 1 よい姿勢で泳ぐこと。
- 2 キックやプル（手のかき）で後ろへの推進力をつけること。
- 3 パワー。 昨年度の水泳指導で教えていただきました。自分の目標、学年の目標をもって泳いでいます。左は低学年。下は、高学年。高学年は、100mに挑戦していました。



健康診断から治療へ

1学期に健康診断がありました。治療が必要な人は、夏休みの間に治療を済ませて、2学期を元気に過ごせるようにしましょう。

特に、本校ではむし歯の治療率（治療が必要なお知らせをして、実際に治療をされた割合）が低いことが経年的に続いています。

虫歯は治療しなければ治りません。丈夫な永久歯が長く使えるよう、治療をお願いいたします。

見守り隊メンバー募集

見守り隊のみなさんには登下校の安全見守りにご協力いただいています。これまで長く引き継いでいただいています。ご都合により人数が少なく、従前通りのローテーションはできない状況です。子どもたちの安全・安心のため、保護者の方でご協力いただけませんかでしょうか。問い合わせは教頭まで。